

平成29年4月19日

上ノ国町議会議長

石澤一明様

氏名久末善輝



平成28年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

1 政務活動名

- (1) カキ養殖事業の調査研究
- (2) ギンザケ養殖事業の調査研究
- (3) 歴史文化遺産などの保全及び展示公開の調査研究

2 政務活動内容

(1) カキ養殖事業の概要について

平成28年10月20日午前9時から、新潟県佐渡市の加茂湖漁業協同組合で、伊藤隆一組合長より加茂湖でのカキの養殖事業について説明を受けて、研修視察した。

(2) ギンザケ養殖事業の概要について

平成28年10月20日午前11時から、新潟県佐渡市の弓ヶ浜水産佐渡事業所で山本勝所長より前浜沖でのギンザケの殖事業について、説明を受け、研修した。

(3) 史跡「佐渡金山」や「トキの森公園」の保全や展示公開について

平成28年10月20日午後2時から視察研修した。

3 政務活動成果

(1) カキ養殖事業

加茂湖のカキの養殖は明治35年から始まり、貧酸素水塊（酸素量が極めて不足している孤立した水域）と戦いながら今日に至っています。加茂湖は周囲17km、面積486haで最大水深8.7mの淡水湖ですが、現在はポンプで外海から海水を導入しています。カキはいかだ方式で3月に種付けし、11月から3月に収穫する1年物で、種子は三重県や宮城県から購入しており、現在は組合員60名で、半数が農業を兼業しているとのこと。高齢化が進み、後継者の育成にも取り組んでいます。



注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

漁獲量は119トン（平成27年度）で、そのほとんどが県内で消費されているとのことです。養殖いかだは最盛期は4,000台くらいありましたが、現在は400数十台となっています。現在も農地からの排水の流入による富栄養化や酸素不足をなくすために、自然に合せたヨシ原をつくっているとのことです。なお、佐渡島の反対側の真野湾では、はえ縄方式でカキの養殖を行っています。

○加茂湖におけるカキ養殖の歴史

- ・明治35年 湖口の掘削より両津湾とつながる
- ・" " カキ移植（失敗）
- ・明治43年 地まき式養殖を県水産試験場が指導
- ・大正10年 この頃から天然カキが湖内に大発生
- ・昭和6年 垂下式養殖に成功（ヘドロの影響により時まき式養殖が困難）
- ・昭和26～27年 **湖奥のカキが大量死**（底層水の貧酸素が原因）
- ・昭和38年 筏台数3,000台、総収益1億円を記録（現在約850台）
- ・昭和39年 この頃から水質悪化による**カキ死が目立つ**
- ・昭和46～48年 底層水の貧酸素状態を改善するため、海水導入及び陸水導入工事を行うー1)
- ・昭和50年 カキ殻処理場を設置ー2)
- ・昭和55 海水導入工事を行うー3)
- ・平成5～16年 湖奥に堆積したヘドロを除去するため、浚渫工事を行うー4)
- ・平成12年 海水攪拌装置4基設置するー5)
- ・平成19年 **湖奥のカキが大量死**（シロボヤの大発生を伴う）
- ・平成21年 ヘドロカプサによる**カキ大量死**

(2) ギンザケ養殖事業

弓ヶ浜水産株式会社（日本水産(株)の子会社）は、当初、宮城県女川町でギンザケの養殖、加工事業を行っていましたが、2011年の東日本大震災で被災したのを機に、本社機能を鳥取県に移し、2年間の試験操業の後、2013年12月に佐渡事業所を設立しました。



養殖ギンザケ「活メ（かつじめ）佐渡サーモン」の生産サイクルは、下図のとおりで、漁獲量は生簀（いけす）10基分1,000トンを計画しています。佐渡市は、鳥取県堺港市よりも海水温の上昇が遅く、出荷時期が約1か月遅くなるため、佐渡サーモンの供給期間が長くなったとのことです。

この給餌システムは、①魚の食欲に合わせて給餌、②水温や摂餌（せつじ）行動を水中カメラでモニタリング、漁場と事務所間をデータ通信、③給餌技能を見える化できるものです。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

(3) 史跡「佐渡金山」や「トキの森公園」の保全や展示公開について
佐渡市には自然、歴史文化遺産などがたくさんあり、佐渡金山は1601年から1989年まで、金銀を採掘しており、388年間に産出した金は78トン、銀は2,330トンで、まさに日本最大の金銀山でした。



佐渡市では、世界文化遺産の指定に向けて、市民運動を展開しており、街中にはそれに向けたのぼりが多く見られ、観光客にも働きかけをする光景が見られました。佐渡金山は、きれいに保存され、歴史文化の展示もわかりやすく、環境整備もされています。



また、国際保護鳥であるトキを展示している「トキの森公園」も環境整備が整っており、近くでトキを見られる工夫やトキについての様々なことがスクリーンやパネルでわかりやすく展示されています。特に、トキの保護のため、車で近づかないことや、農家が収穫期が終わった後、水田を代掻きして餌になるドジョウの増殖を図るなど、住民が一丸となって保護しているのが感じられます。

研修の成果

カキの養殖については、本町の港湾、沿岸を改めて調査の上、適地を検討するべきと思います。

ギンザケの養殖事業については、本町で実施する場合、設備や資金等において、実現は難しいと思われます。

本町の歴史文化遺産の展示、公開施設はできる限り町役場付近に建設をすべきと思います。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。